

【記載上の注意】

(様式貸規第1号)

長谷育英奨学資金貸与申請書

フリガナ 申請者氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日生		
現住所	〒 電話 () -						
高等学校名等	立 課程 学科 ※ 在学・卒業 (年 月)	高等学校 科	高等学校 卒業程度 認定試験合格	年 月			
入学時 奨学一時金	※ 希望する・希望しない		進学予定学校の種別	※ 大学・短期大学・ 専修学校(専門課程)			
生計を一にする家族及びその所得者	就学を 除く 家族 及び その 所得者	続柄	氏名	年齢	所得等の種類	収入金額(税込) ・売上高	所得(利益)金額 (税込)
	続柄	氏名	設置者別	学校種類別	学年	通学別 (小・中・高)	
	本人		※ 国・公 ・私立	※ 小・中・高・高専・大・ 専修(高・専)・その他()	学年	※ 自宅 自宅外	
			※ 国・公 ・私立	※ 小・中・高・高専・大・ 専修(高・専)・その他()	学年	※ 自宅 自宅外	
			※ 国・公 ・私立	※ 小・中・高・高専・大・ 専修(高・専)・その他()	学年	※ 自宅 自宅外	
			※ 国・公 ・私立	※ 小・中・高・高専・大・ 専修(高・専)・その他()	学年	※ 自宅 自宅外	

募集要項の貸与額(2)を参照してください。

主に家計を支えている人には○
別居している人には×
(単身赴任など)

「平成30年分所得証明書」の
「収入金額等」欄より転記
年金受給者の人は、
「平成30年分所得証明書」の
「年金収入額等」欄より転記

「平成30年分所得証明書」の
「所得金額等」欄より転記

- 備考 1 ※印は、該当するものを○で囲むこと。
 2 「生計を一にする家族及びその所得の欄は、主たる家計支持者に○印、別居者に×印を「続柄」の左欄に記入すること。
 3 「学校種類別」の欄の「その他」は、特別控除額表の校種に当てはまらない学校(各種学校等)の場合に○で囲むこと。

家庭	特別の事情	該当欄 (該当する欄に○を付ける)	特別の事情	該当欄 (該当する欄に○を付ける)
	(1) 一人親世帯		(5) 主たる家計支持者が別居している世帯	
	(2) 申請者以外に就学者のいる世帯		(6) 災害を受けた世帯	
	(3) 障がい者のいる世帯		(7) その他特別な事情がある世帯	
事情	(4) 長期療養者のいる世帯			
	(上記(3)～(7)に該当する世帯にあっては、その事情、状況等を具体的に記載すること。)			

上記のとおり記載事項に相違ありませんので、長谷育英奨学資金貸与規程の定めにより、育英奨学資金の貸与を申請します。

令和 年 月 日

公益財団法人 長谷育英奨学会 様

各自自署してください

申請者 氏名

㊟

異なる印鑑を使ってください

法定代理人 氏名

㊟

親権者、またはそれに代わる人

住所

日中の連絡先 携帯電話

—

—

勤務先

—

—

申請者との続柄 () 昭和 年 月 日生

- 備考：1. 「家庭事情」の欄の(3)から(6)までに該当する場合は、その事由を証する書類を添付すること。
 2. 日中の連絡先は、平日の日中に必ず連絡が可能な番号を記入すること。